

# STREAMチャレンジ2024 について

ロボット部門 開催概要資料 Ver.3.1

ソフトバンクロボティクス株式会社

# はじめに

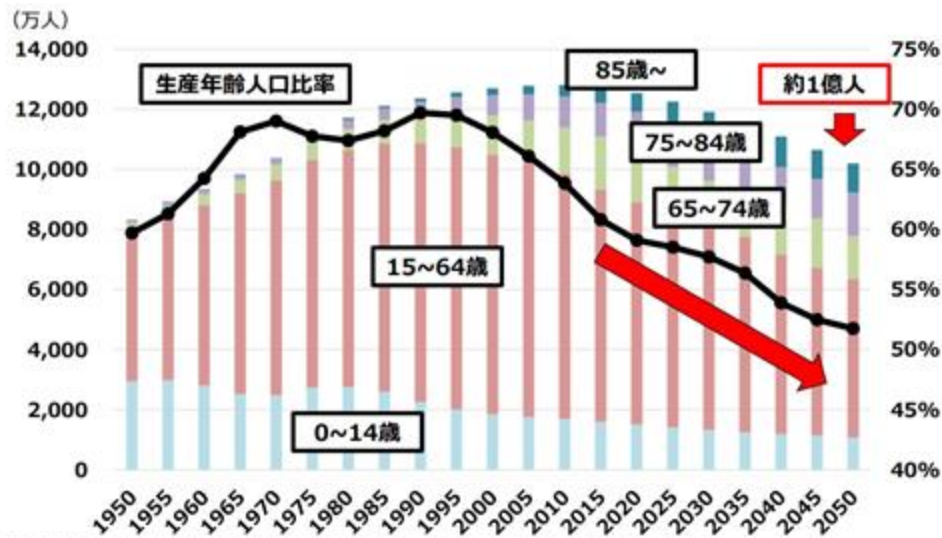
- 本資料は2023年度に実施するSTREAMチャレンジの目的、実施概要について記載しています。
- STREAMチャレンジにエントリーなさる団体様やチームの皆様は、本資料をご一読の上、準備を進めていただきますようお願いいたします。

## 更新履歴

日付	Ver.	更新内容
2023/5/27	1.0	初版を発行
2023/9/15	2.0	エントリー要項・支援環境を追加
2023/11/1	3.0	エントリー情報更新・ワークショップ情報(p.12)更新
2023/12/5	3.1	ワークショップ情報(p.12)更新

### 人口減少・生産年齢人口比率低下

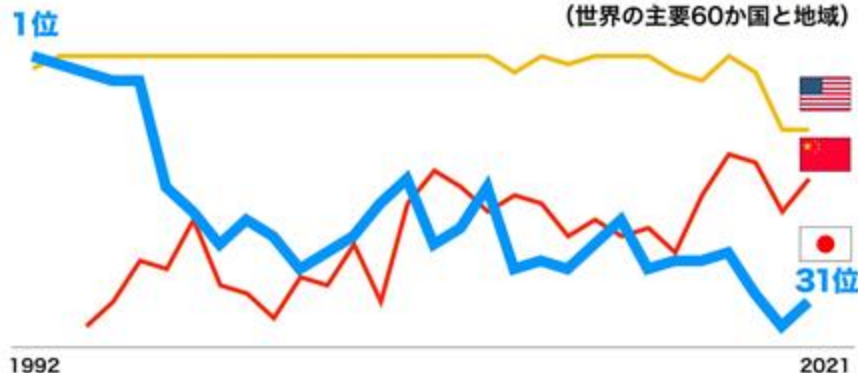
これから先、私たちの住む日本は少子高齢化が加速するとともに人口そのものが大きく減少していきます。それにともない、働くことができる生産年齢人口比率が低がり、世界の中での競争力も低迷が続いている状況です。



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」、総務省「人口推計(平成28年)」より経済産業省作成

### 世界競争力ランキング

(世界の主要60か国と地域)



※IMD「世界競争力年鑑(1989~2021)」を元に当社作成

経済状況	12位	ビジネス効率性	48位
政府効率性	41位	インフラ	22位

## AI・ロボットの活用を増やす

日本の競争力を高めるために、今まで人間が全て行っていた仕事や業務の中で機械やコンピュータが得意な内容があれば、AIやロボットといった最先端テクノロジーを活用し、人間と役割分担していく必要性があります。その結果、競争力は10倍にすることが可能と考えます。

今まで

全ての仕事・業務を人間が行う

これから

役割分担

人間

人間が得意なこと

AI・ロボット

機械が得意なこと

競争力は**10倍**にできる

労働時間  
(24時間労働)

3倍

×

生産性  
(AI活用)

3.5倍

## テクノロジーで社会課題を解決する

私たちの生きる情報社会は予想にもしなかった激しい変化が起きるようになり、それを乗り越える力が求められるようになりました。与えられた問題をただ解くだけでなく、まだ答えのない課題をテクノロジーを活用して解決していくことがこれからますます求められるようになります。

感染症

気候変動

環境汚染

資源不足

食糧危機

貧困・格差

少子高齢化

宗教対立

経済危機

情報リスク

人口増大

価値観の多様化

構造 = **複雑**

変化スピード = **速い**

規模 = **大**

“不確実性”の増大

何もしなければ **社会の持続可能性が危うい**

### テクノロジー活用人材を全国で育成する

各地域・各産業に存在する課題を実務者や専門家の支援を受けつつ、全国にいる次世代を担う人材が実際に解決することを通じて、テクノロジーを道具として使いこなせるようになることを目指します。



※今回は、ソフトバンク社の「AIチャレンジ」参加団体と共同開催の予定です（ロボット部門とは別部門で審査します）

## SDGsへの貢献をテーマにプロジェクトを募集します

身の回りにある社会課題のうち取り組みたい課題を自ら設定し、解決策を考案してください

**課題（テーマ）：テクノロジーでSDGsに貢献する**

ロボットを用いてSDGsの目標達成に貢献する課題を自ら設定し、  
解決策を考案してください



少子高齢化

介護問題

貧困

災害

感染症

待機児童

地球温暖化

# Pepperを含むロボットをプログラミングして動かし、SDGsに貢献するアイデアを実装してください

## ロボット (Pepperを含む)



Pepperもしくは下記に指定するロボット実機を用いて解決策を考案、解決のために**実装（実証）**してください

### 【指定ロボット群】

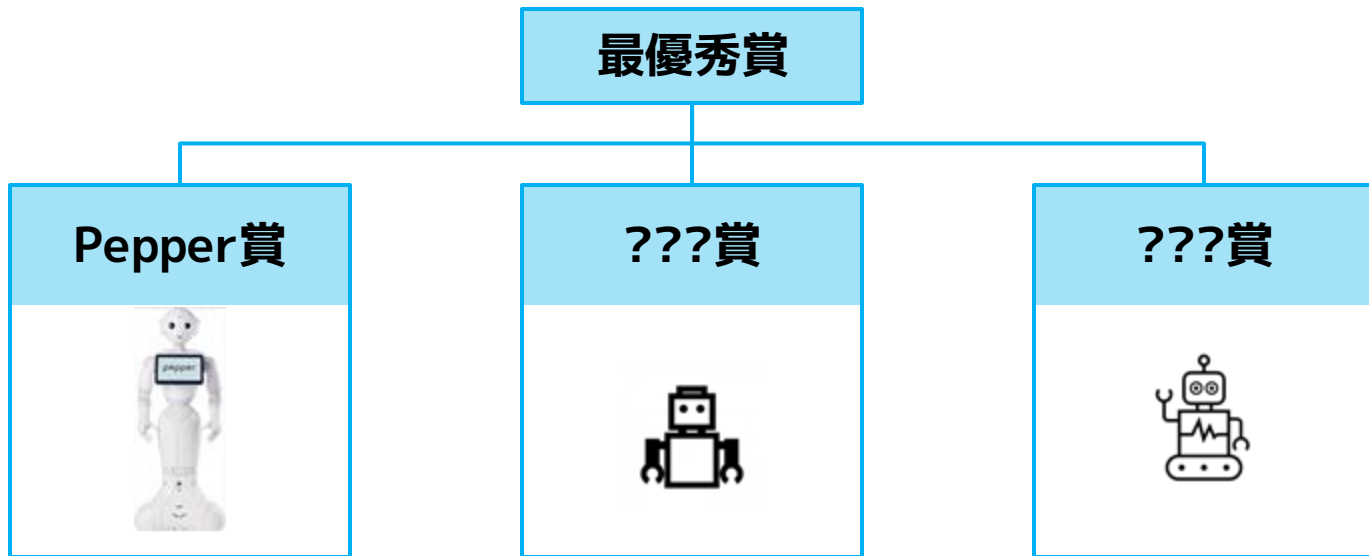
以下のうち自作のプログラミングで動かすもの

- 形が完成し固定されているもの  
例：人型、動物型、ドローン、車
- 組み立て型（自作も可）
- センサー系（MESH・micro:bitのみ）

※複数ロボットを組み合わせたプロジェクトもエントリー可能です



# 最優秀賞、Pepper賞を設けます 他ロボット賞も検討中です



Pepper契約者は、Pepper単独、もしくは他ロボットとの組み合わせでエントリーすることができます。他ロボットのみでのエントリーすることも可とします。

- 賞の名称および数は現時点で仮のものとなります。次のご案内をお待ちください。

## ワークシートと動画などを提出頂きます

利用する ロボット	Pepper	その他ロボット (Pepper以外)
<p><b>提出物</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングのプロジェクトファイル</li> <li>・ワークシート「研究レポート」</li> <li>・プレゼンテーション動画</li> </ul> <p>※Pepperと組み合わせて使用するハード・ソフトウェアに制限はありません</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート「研究レポート」</li> <li>・プレゼンテーション動画</li> </ul> <p>※ロボットと組み合わせて使用するハード・ソフトウェアに制限はありません</p>

## PBLの取り組み前・中・後で支援を実施予定

課題解決型学習（PBL）を実践するにあたり、取り組み前、取り組み中、取り組み後のそれぞれで学校外部の人材・コンテンツと連携し支援する環境を用意します。

### 実施施策例

#### 事前セッション

- ワークショップ開催  
(P.12参照)

#### 有識者相談会

- 事前相談会  
ソフトバンクロボティクス  
社員による相談枠を設けま  
す (P.13参照)

#### フィードバック

- 実務者フィードバック

## 事前セッション：中高生アイデアワークショップ

ChatGPTとさまざまな分野で活用されているロボットを組み合わせ、実在する社会課題の解決について考えるアイデアワークショップです。ChatGPTの使い方だけでなく、社会で実際に活用されているロボットや社会課題についても学べる内容となっています。



### 実施日時

11月19日（日） ※後日アーカイブ視聴も可  
第1部 午後0時～2時（受付開始：午前11時～12時）  
第2部 午後3時～5時（受付開始：午後2時～3時）

終了しました

### アーカイブ動画

以下URL（YouTube）にてご覧いただけます  
<https://j.softbankrobotics.com/pepper/movie/20231119>

### 対象者

13-18才

## オンライン相談会

STREAMチャレンジにエントリーする前の課題設定や解決手段などに関するご相談を受け付けます。

### 実施要項



#### 実施日時

1. ~~10月11日（水） 16:00-17:00~~ ← 終了
2. 11月15日（水） 16:00-17:00

#### 実施方法

オンライン（Zoom）にて実施します  
※1チームから複数回お申込みいただくこともできます。  
※1日程で最大3チームからのお申込みを受け付けます。  
申込者多数の場合は別途日程調整させて頂く場合がございます。

#### 申込方法

以下のフォームにてお申込みください

#### 申込フォーム

<https://forms.gle/peiLwLsTHAsmADdV9>

## 最新情報は随時更新します



# エントリーガイド

## 使用するロボットにより エントリー条件と提出物が異なります

利用するロボット	エントリー条件	提出物	補足事項	審査ポイント	フィードバック 及び表彰
Pepper	Pepper用	Pepper用	共通	共通	共通
その他 ロボット	Pepper以外 ロボット用	Pepper以外 ロボット用			



### エントリー 条件

- ✓ Pepperの契約があること
- ✓ オリジナルのプロジェクトであること

### 提出物

- ✓ プロジェクト内容のプレゼンテーションと実演を収録した動画
- ✓ Robo BlocsまたはChoregrapheのプロジェクトファイル
- ✓ プロジェクト内容のまとめシート「研究レポート」

#### 【注意事項】

- チーム単位に担当する指導者がデータ類を取りまとめ、指定の方法で提出すること
- 動画の長さは5分以内とし、動画の編集は可能とする（動画編集は指導者が実施してよい）
- 提出するプロジェクトファイルは動画内で実行される内容と同一であること
- 第三者の権利を侵害するコンテンツ・素材・要素を含まないこと
- データ類は弊社Webに掲載する可能性があり、全ての要素が一般公開に対して承諾済みであること
- エントリー期日を過ぎて提出されたデータ類は無効とする
- プログラムの技術的説明をプレゼンテーションに含めることは必須ではない。代わりに、アイデアの内容や効果の説明を丁寧に行って欲しい

### エントリー 条件

✓ 指定するロボット実機を利用したプロジェクトであること

【指定するロボット】

以下のうち自作のプログラミングで動かすもの

- 形が完成し固定されているもの  
例：人型、動物型、ドローン、車
- 組み立て型（自作可）
- センサー系（MESH・micro:bitのみ）

✓ オリジナルのプロジェクトであること

### 提出物

✓ プロジェクト内容のプレゼンテーションと実演を収録した動画

✓ プロジェクト内容のまとめシート

【注意事項】

- チーム単位に担当する指導者がデータ類を取りまとめ、指定の方法で提出すること
- 動画の長さは5分以内とし、動画の編集は可能とする（動画編集は指導者が実施してよい）
- [第三者の権利を侵害するコンテンツ・素材・要素を含まないこと](#)
- データ類は弊社Webに掲載する可能性があり、[全ての要素が一般公開に対して承諾済み](#)であること
- エントリー期日を過ぎて提出されたデータ類は無効とする
- プログラムの技術的説明をプレゼンテーションに含めることは必須ではない。代わりに、アイデアの内容や効果の説明を丁寧に行って欲しい

### 補足事項

- ✓ ロボットを使用していれば、パソコン、スマートフォンなど他の機器やソフトウェアと組み合わせたシステム構成及び運用とすることは自由。
- ✓ チームの人数制限なし（1人でもエントリー可能。副賞は各賞4人分まで）
- ✓ 1チームから複数プロジェクトエントリー可能。ただし、表彰対象は1チーム1プロジェクトのみ。
- ✓ 学年、地域、団体を混成したチーム構成にすることは可能。
- ✓ メンバーとは別に、チーム単位に担当する指導者が存在すること
- ✓ 1人の指導者が複数のチームを担当することは可能。
- ✓ 社会実装や実証実験するために、担当する指導者が外部機関との交渉や契約など、学習者のみでは社会的に困難な事柄の支援をすることは可能。

### 審査ポイント

- ✓ テーマ選定の着想・着眼点
- ✓ Pepperを使用してどのように課題解決を行ったか
- ✓ どのような結果・効果が生み出せたか  
※チームを構成するメンバーの年齢・学年等を考慮してレベルに応じた審査を実施する  
※加点対象：チーム（複数の構成メンバー）でのエントリー

### フィードバック 及び表彰

- ✓ 表彰外プロジェクトについては書面フィードバックと参加証明書の発行を実施
- ✓ 表彰プロジェクトはオンライン（一般公開）による表彰式での発表と動画で有識者からのフィードバックを実施
- ✓ 表彰式にて最優秀賞（仮名称）及び複数の賞の表彰と全チームに表彰状・賞品授与を予定
- ✓ 表彰チーム以外のプロジェクトについても、YouTube・ホームページ等で公開の可能性あり

## エントリーパターンを自由に選択いただけます

例1：1チーム×指導者1名



例2：複数チーム×指導者1名



例3：1名×保護者1名



例4：1チーム×保護者1名



# エントリー方法

## ○エントリーフォームアクセス

<https://7d87a4e4.form.kintoneapp.com/public/e2068da44d4f5ff9b242345b657963e9e509ac5451f829c1f44faac9f6bb611f>

※フォーム送信の後で、提出物を格納するためのURLを、事務局から個別にお送りします

### 【提出データ】

- ①エントリー作品内容のプレゼンテーションと実演を収録した動画
  - ②Robo BlocsまたはChoregrapheのプロジェクトファイル（Pepperで応募する場合のみ）
- ※ 他のプログラミングツール（SDK等）で開発した場合は提出不要

③研究レポート

④チームメンバー表

※③のフォーマットファイルダウンロードは以下のURLからお願いします

[softbankrobotics.com/jp/set/data/event/stream2024/media/researchpaper.ppt](https://softbankrobotics.com/jp/set/data/event/stream2024/media/researchpaper.ppt)

※④のフォーマットファイルは、エントリー頂いた方にメールでお送りいたします

### 【注意事項】

- チーム単位に担当する指導者がデータ類を取りまとめ、指定のPrimeDriveにアップロードすること
- 動画の長さは**5分以内**とし、動画の編集は可能とする
- 提出するプロジェクトファイル・研究レポートは動画内で実行される内容と同一であること
- **第三者の権利を侵害するコンテンツ・素材・要素**を含まないこと  
(例：企業/イベントロゴ、著作権のある書物、音源など ※オリンピックロゴは通常使用NGなど)
- データ類はWebに掲載する可能性があり、**全ての要素が一般公開に対して承諾済みであること**
- 期日を過ぎて提出されたデータ類は無効とする（期限：2024年1月19日（金））
- 研究レポートも**審査対象**になりますので内容が伝わるよう記入ください

# 全国大会までの流れ

エントリー締切から、データ提出までの期間を設けます。  
期限までにじっくりと作品と向き合っていたいただきたいと思います。

	エントリー	データ提出	審査	通知	全国大会
日程	～2024/ <u>1/12(金)18時</u>	～ <u>1/19(金)18時</u>	1/20～	2月下旬	3月中旬

エントリー  
チーム  
実施事項

[STREAMチャレンジ  
2024Webサイト](#)



データ格納先URL  
のご案内

提出データを PrimeDrive  
(格納フォルダ)に  
アップロード

**参加意思があるチームは、すぐにエントリーをお願いいたします！**  
※最終のデータ提出はエントリーにあたり必須ではありません

**エントリー後の期間で、  
提出作品をブラッシュアップください！**



全国大会の  
ご案内

オンラインで  
表彰式に参加

※全国大会発表チーム以外には  
書面にてフィードバックを実施

# 提出データアップロード方法の概要

## Step 1 データの準備

プロジェクトファイル



Robo Blocks

研究レポート



発表動画データ



メンバー表

適正なファイル名で保存  
(次々ページ)

## Step 2 データ提出



または  
DVD



所定URLにアップロード  
(またはDVD送付)

## 注意事項

- ✓ 発表動画とプロジェクトファイル・研究レポートの内容に齟齬がないようご注意ください。
- ✓ データ提出後順次内容の確認を行うため、提出後のファイル差し替えはお控えください。
- ✓ ファイルにパスワードなどは**かけない**ようにしてください。
- ✓ 提出内容に不備や不明点がある場合は、事務局より個別にご連絡いたします。
- ✓ PrimeDriveにアクセスできない場合はDVDにデータ書き込みし、P36の宛先まで送付してください。

# プライバシーポリシー

以下の＜個人情報の取り扱いについて＞をご確認いただき、データ提出をもって同意するものとさせていただきます。

## ＜個人情報の取り扱いについて＞

提出内容に含まれる個人情報は、ソフトバンクロボティクス株式会社の個人情報保護方針に従い、ソフトバンクロボティクス株式会社が厳重に管理させていただきます。

なお、データ提出にていただいた個人情報を、ソフトバンクロボティクス株式会社及びその委託先は、プログラミング成果発表会「STREAMチャレンジ2024」の審査のために利用させていただきます。

共同利用される個人情報の保護管理者は、ソフトバンクロボティクス株式会社の情報セキュリティ管理責任者です。

個人情報の取り扱いについて

<https://www.softbankrobotics.com/jp/legal/privacy/>



# ファイル名ルール

---

以下のとおりファイル名を付けてください

【プロジェクトファイル】 チーム名.zip

【発表動画データ】 チーム名.mov/ チーム名.mp4/ チーム名.m4v

【研究レポート】 チーム名\_研究レポート.pptx

【メンバー表】 チーム名\_メンバー表.xlsx

Step 1  
データの準備



Step 2  
データ提出

# プロジェクト（プログラム）ファイル （Pepperで応募する場合のみ）

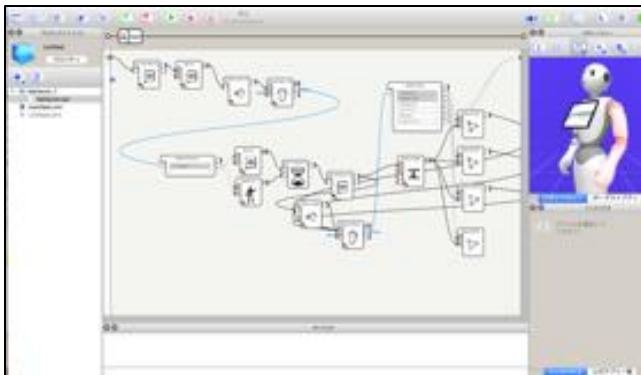


P27～

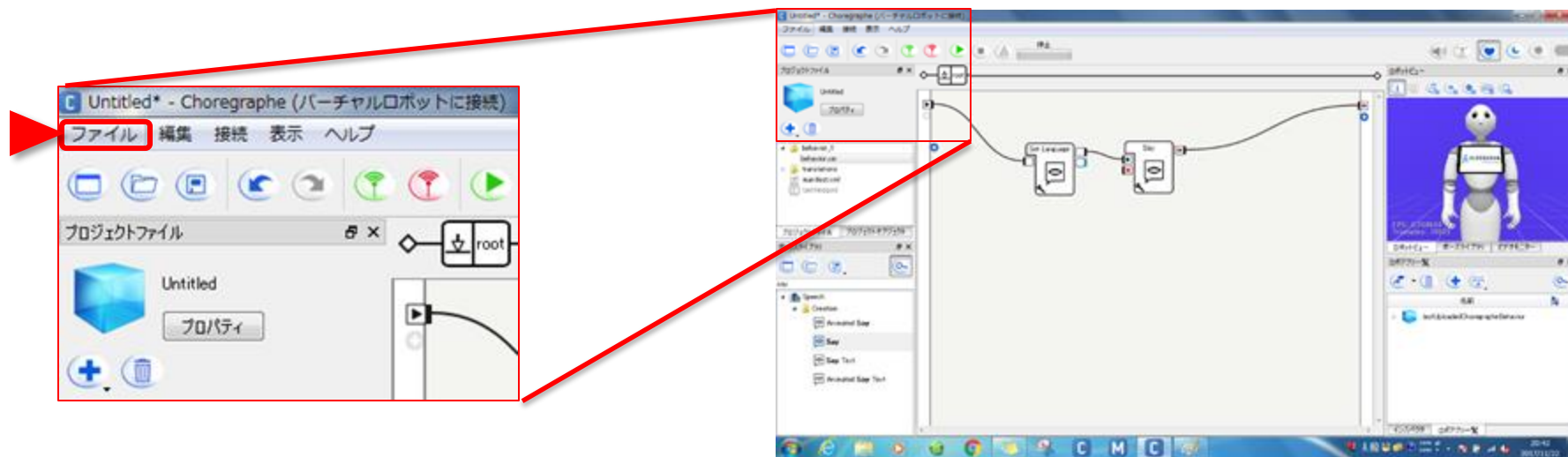


P34～

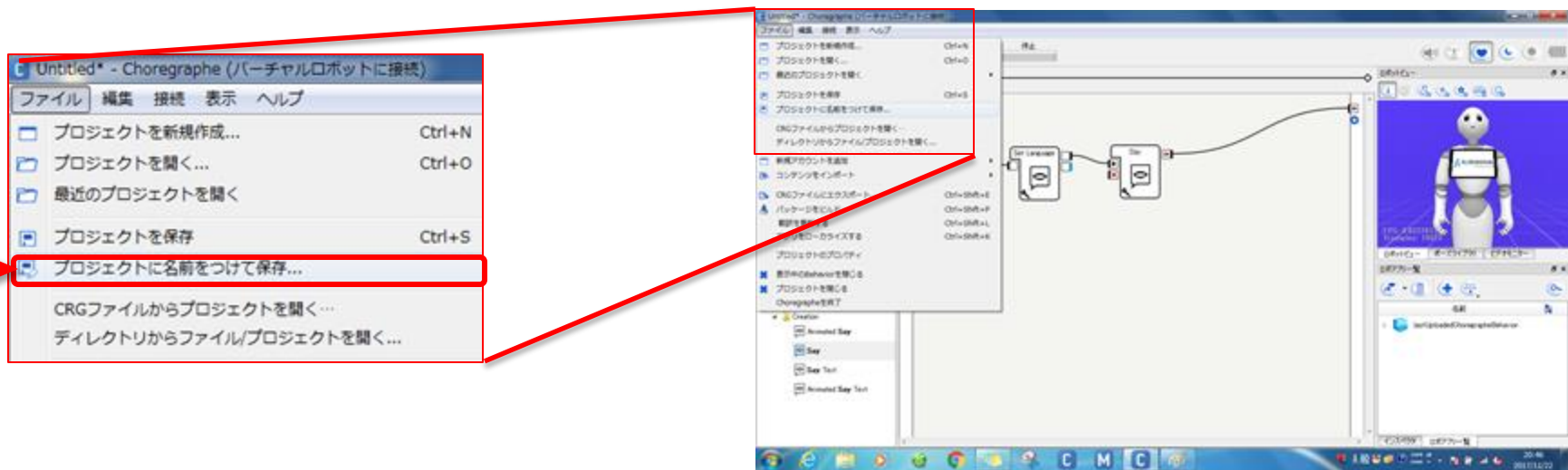
## Choregrapheを使用する場合



# ① 「ファイル」 を左クリック



## ② 「プロジェクトに名前を付けて保存」を左クリック

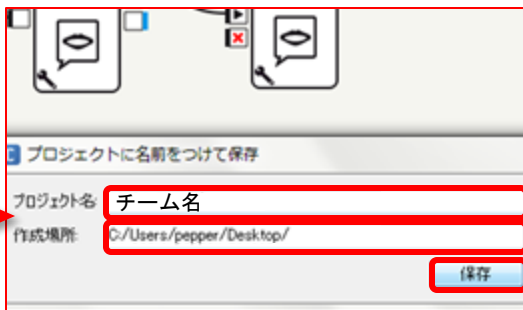


③プロジェクト名の空欄にルールに従いファイル名称を入力

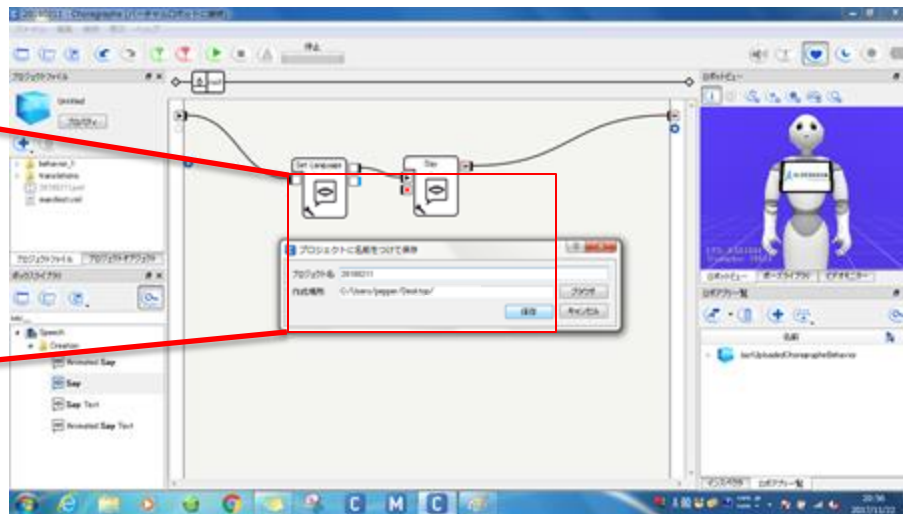
※P25ファイル名ルール参照

④保存場所が「Desktop」になっていることを確認

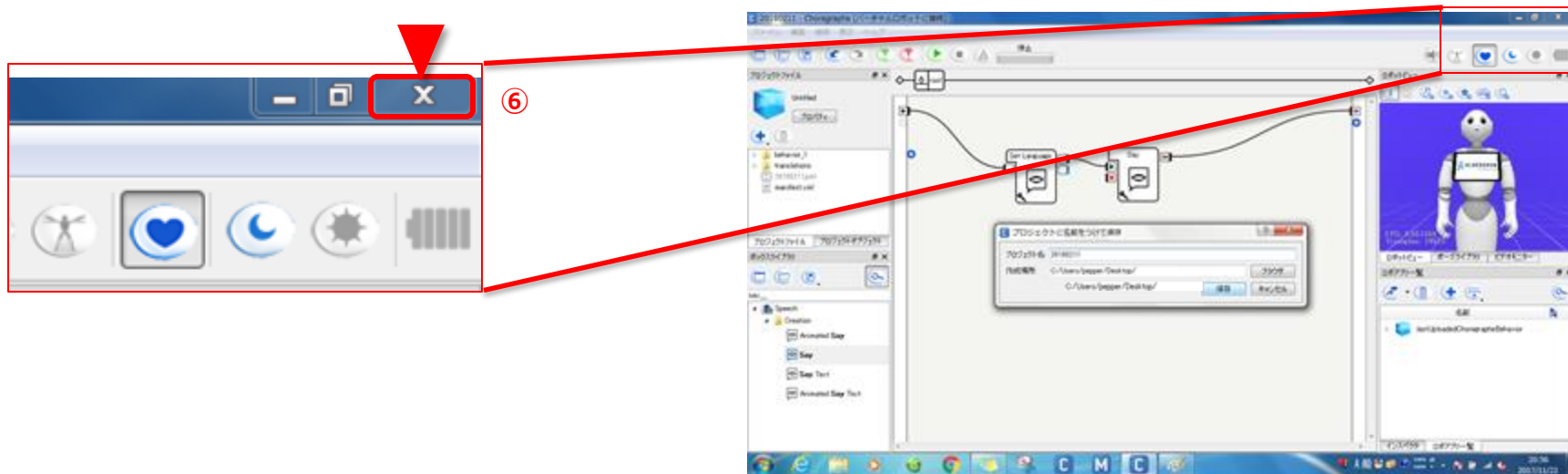
⑤「保存」を左クリック



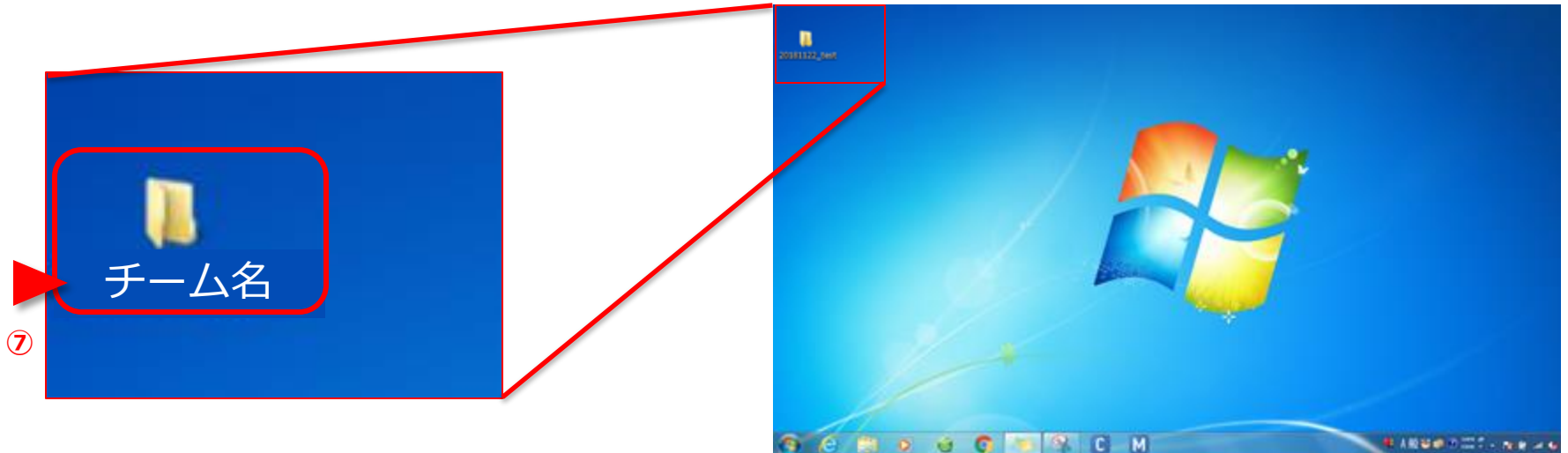
※「.zip」は不要



## ⑥ 「×」を左クリック

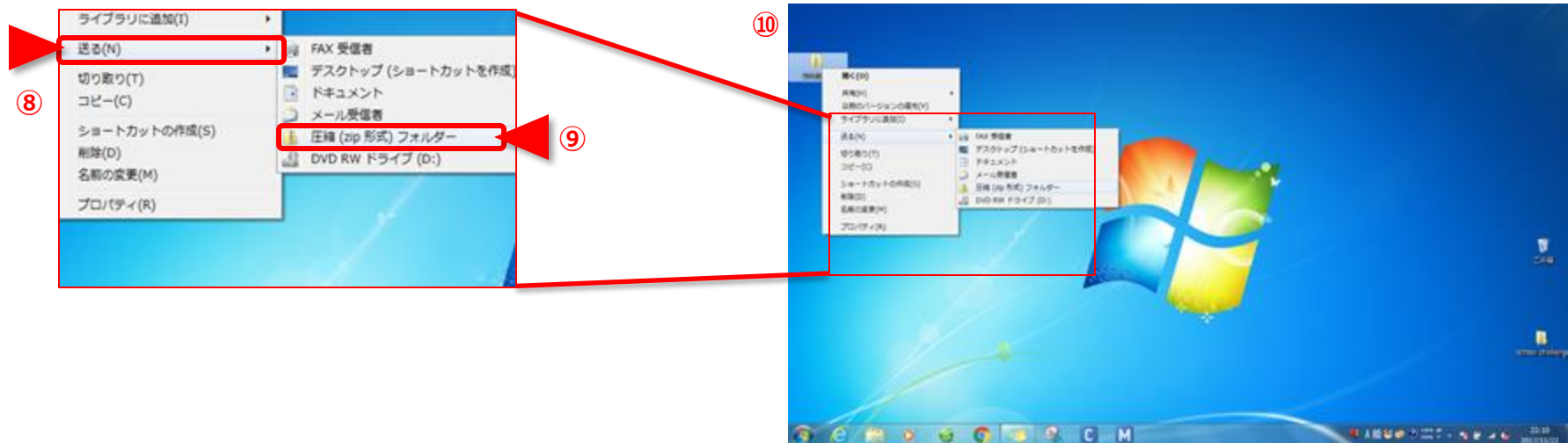


⑦ ⑥で作成したフォルダにマウスポインタを合わせ右クリック





- ⑧ 「送る(N)」を選択
- ⑨ 「圧縮 (zip形式) フォルダー」を左クリック
- ⑩ “XXX.zip”がDesktopにできる

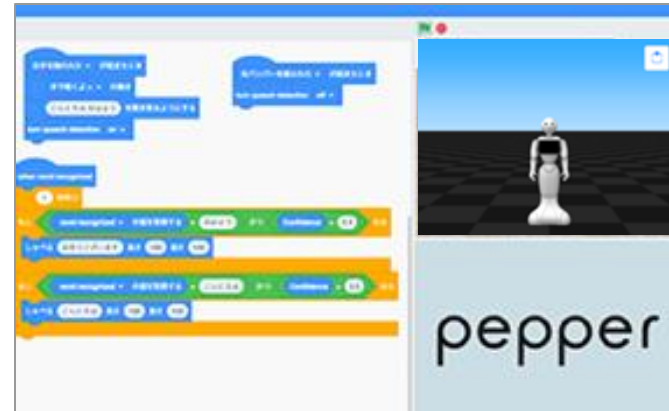


Step 1  
データの準備

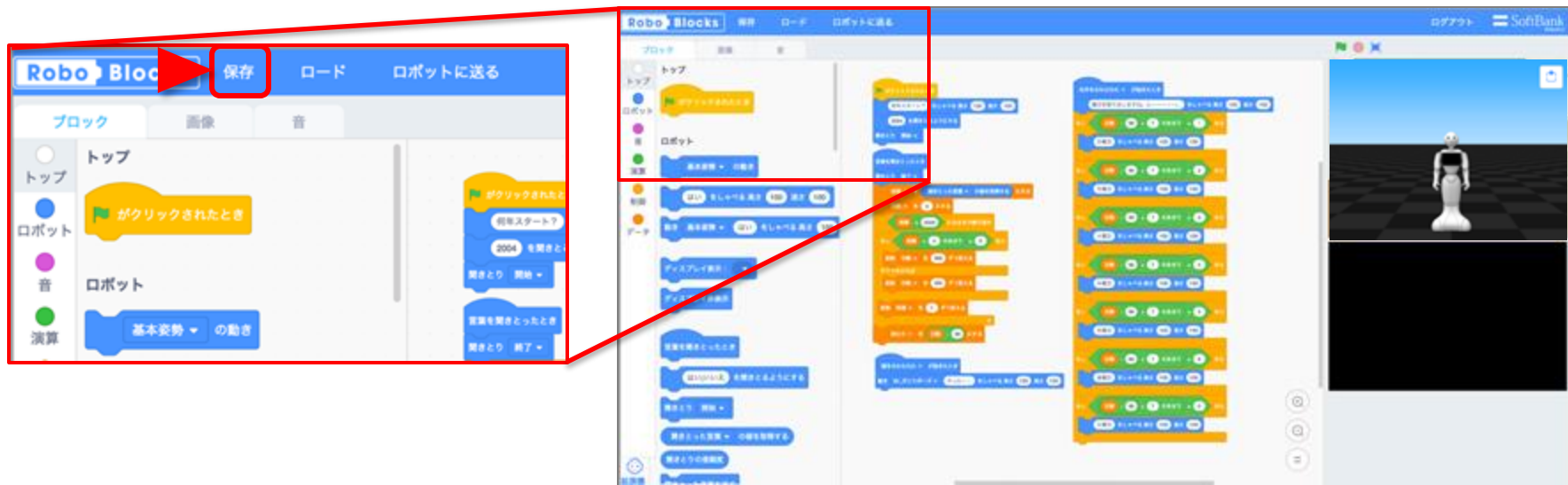
Step 2  
データ提出

## Robo Blocksを使用する場合

Robo Blocks



## ① 「保存」をクリック



※ 管理者権限のプロジェクト一覧から「ダウンロード」すると  
画像・音ファイルが含まれないのでご注意ください

Step 1  
データの準備

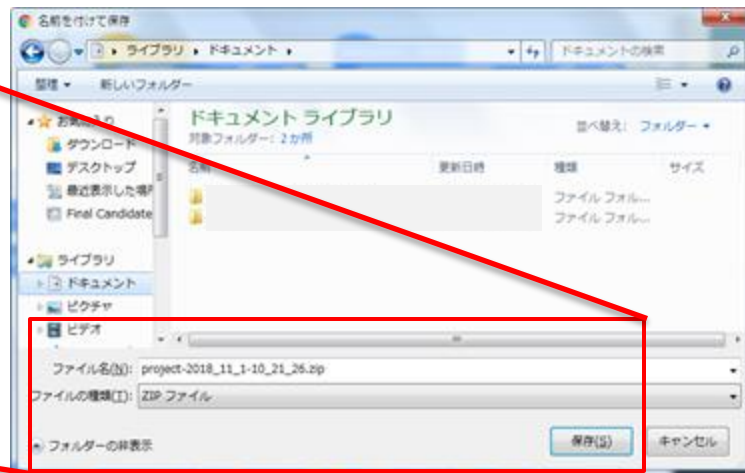
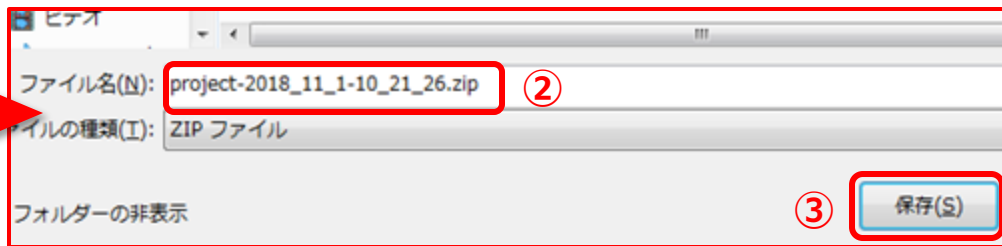
Step 2  
データ提出

Robo Blocks

② ファイル名をルールに従い 名称変更 する

※ P25ファイル名ルール参照

③ 「保存」をクリック



## -補足-

学校内のPC・タブレット等の機器利用環境により、保存したプロジェクトファイルを機器外部に取り出すことが出来ない場合は、下記の手順で提出データを準備してください。

1. 管理者権限で「提出用ルーム(仮称)」を作成しておく
2. 「提出用ルーム(仮称)」にログインする
3. あらかじめ保存しておいたプロジェクトファイルをロードする
4. 「ロボットに送る」を実行する
5. 下記の情報を記したテキストファイル（ファイル名ルール.txt）を作成する
  - 提出用ルーム名(仮称) P25参照
  - ルームパスワード
  - 管理者パスワード

※ ルーム内は審査対象のプロジェクトファイルのみがある状態にしてください
6. 作成したテキストファイルを提出する

Step 1  
データの準備



Step 2  
データ提出

# 研究レポート

The screenshot shows a web form titled "STREAM+ レンゾ 研究レポート". It is divided into several sections with colored headers: blue for "研究システム", light blue for "研究システム間の連携", red for "研究内容と結果", and pink for "研究ポイント".

- 研究システム**: Includes a text input field for "研究システム" and a dropdown menu for "研究システム".
- 研究システム間の連携**: Contains two columns: "連携する研究システム名" and "連携する研究システムID".
- 研究内容と結果**:
  - 研究内容**: A text area for "研究内容" and a red button labeled "研究内容の保存".
  - 結果**: A text area for "結果" and a red button labeled "結果の保存".
- 研究ポイント**: Includes a text input field for "研究ポイント" and a text input field for "研究ポイントの補足".

# 研究レポート

STREAMチャレンジ2024【ロボット部門】 研究レポート(1/2)	
テーマ	テクノロジーでSDGsに貢献する
発表タイトル	
チーム名	
01. 課題と理想	
解決する具体的な問題	関連するSDGs項目
具体的な課題とSDGsの関連性	
課題の現状	目指したい理想
02. ロボットと解決策の内容	
ロボットについて <small>・会場のロボットの機会には ・本場に出張して見てほしい</small>	( 既製品 / 自作 ) ※当てはまるものを○で囲んでください ロボットの名前:
ロボットでの解決策	
解決策の詳細 <small>・ロボットをどのように活用して、 課題を解決するのか</small>	
ロボットの特徴 <small>課題に対して選んだロボットが 他に比べて強み・つよさ・長所や ロボット改造でこだわったポイント</small>	
ロボット写真 <small>→正面・側面など複数の角度で撮影した写真を貼り付けてください</small>	

STREAMチャレンジ 研究レポートをダウンロードし、ファイル内3-4ページ目の記入例を参考に作品の内容を記載してください。  
※研究ノートも**審査の対象**となります。  
しっかりと内容が伝わるように記載ください。

ファイルダウンロードページ

[https://www.softbankrobotics.com/jp/set/data/vent/stream2024/media/researchpaper.ppt](https://www.softbankrobotics.com/jp/set/data/event/stream2024/media/researchpaper.ppt)

Step 1  
データの準備



Step 2  
データ提出

## メンバー表

チーム名			
No.	学年	氏名	よみがな
記入例	小学校6年生	竹芝海岸 太郎	たけしばかいがん たろう
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			



# メンバー表

チーム名			
No.	学年	氏名	よみがな
記入例	小学校6年生	竹芝海岸 太郎	たけしばかいがん たろう
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

STREAMチャレンジメンバー表をダウンロードし、チームの構成メンバーを記入して提出してください。

メンバー表（Excelファイル）は、エントリーした方にお送りいたします。



Step 1  
データの準備

Step 2  
データ提出

## 発表動画



# 撮影機材と録画形式

撮影機材	撮影位置 アスペクト比	記録サイズ フレームレート	フォーマット
家庭用ビデオカメラ デジタルカメラ（動画モード） 	横位置  16 : 9	1920×1080 または 1280×720  29.97fps	MOV MP4 M4V
Androidスマートフォン iPhone・iPad 	横位置  16 : 9	初期設定値 (標準カメラアプリ使用)	初期設定値 (標準カメラアプリ使用)

- iPhone・iPadからPCへの動画ファイル移行方法は下記をご参照ください。  
<https://www.softbank.jp/support/faq/view/11447>

**撮影時の騒音・ノイズにご注意ください**

# 撮影動画のポイント

概要

解決する社会課題を記載してください。	
課題の現状	目指す理想
選んだ課題にてどのような困りごとが、発生しているか記載してください。	課題が解決された理想の状態を、記載してください。
解決策	上記の課題をどのような解決策で改善を試みたかを記載してください。



研究ノートの記載内容を元に、Pepperでの実演や実証実験の様子など交えて動画撮影してください。  
※必ずしも構成を研究レポートに合わせる必要はありません。最も効果的に内容が伝わるプレゼンテーションにしてください  
※プログラミングの内容説明は必須ではありません。内容と効果を分かりやすく説明してください。

動画の長さは**5分以内**とし、指導者による動画の編集は**可能**です。

---

Step 1  
データの準備



Step 2  
データ提出

ソフトバンクの法人向けオンラインストレージサービス

PrimeDrive

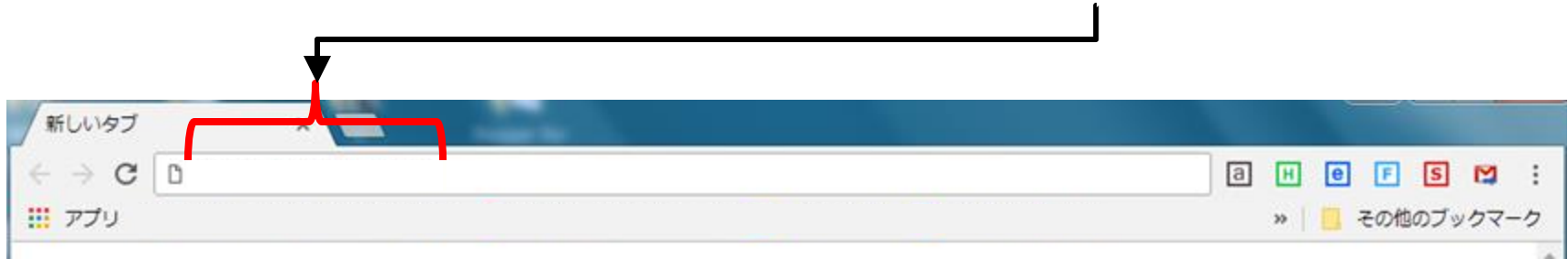
Step 1

データの準備

Step 2

データ提出

①ご利用のインターネットブラウザにメールに記載のアップロード用URLをコピー



\*本手順書ではインターネットブラウザにGoogle Chrome ブラウザを利用

※アップロード用URLはエントリーフォーム送信後に、事務局から別途お伝えします

Step 1  
データの準備

Step 2  
データ提出

②Enterキーを押して“PrimeDrive ファイル回収アップロード”サイトページを開く



リンクアップロード

アップロードリンク情報

有効期限 無期限

メッセージ

アップロードするファイル

対象ファイル

メモ

ファイルを受け取る人へのコメント

通知メールの件名

通知メール本文内のコメント欄

③ “ファイル回収アップロード”画面の“アップロードするファイル”欄にて

リンクアップロード

アップロードリンク情報

有効期限 無期限

メッセージ

アップロードするファイル

対象ファイル

メモ

ファイルを受け取る人へのコメント

通知メールの件名

通知メール本文内のコメント欄

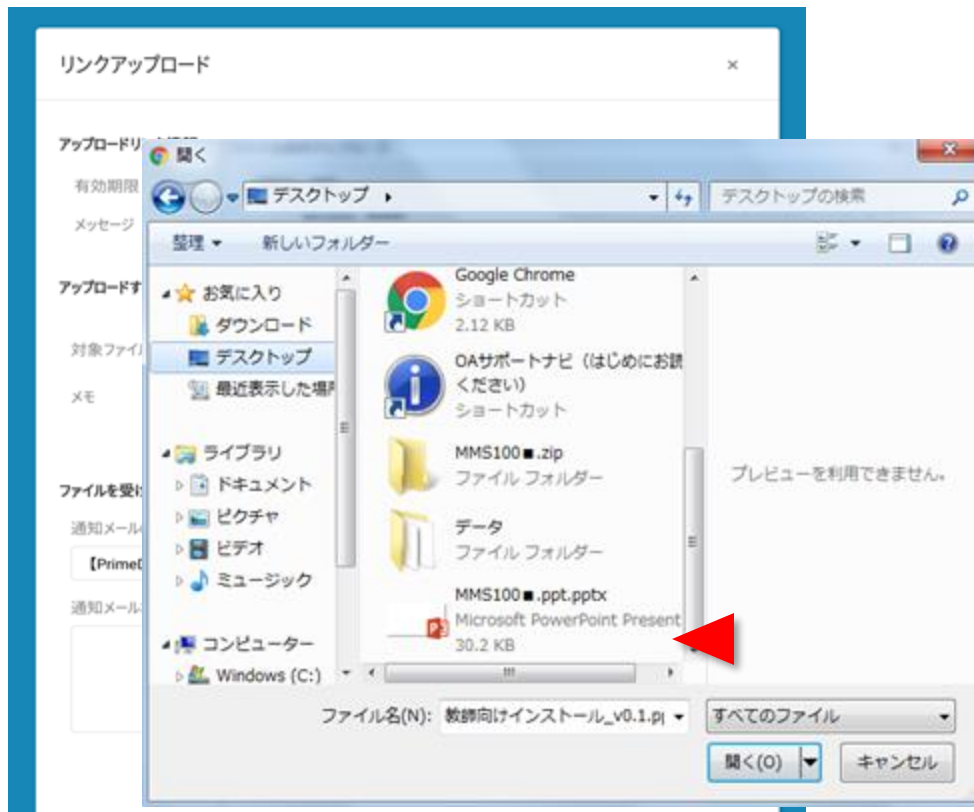
アップロード開始

④ 「選択」をクリックし、Step1で準備した送付データを選択するポップアップ画面を開く。



Step 1  
データの準備

Step 2  
データ提出



⑤ポップアップ“開く”画面内においてStep1で準備した提出データを、1つ選択する。

**【提出するファイル】**

- 1 プレゼンテーション資料 (PPT)
  - 2 プロジェクト (プログラム) ファイル (Pepperで応募する方のみ)
  - 3 研究レポート (PPT)
  - 4 チームメンバー表 (Excel)
- の4種類のファイルが対象。**

Step 1  
データの準備

Step 2  
データ提出

⑥手順⑤を繰り返し、“対象ファイル”欄に、送付するファイルが格納されていることを確認する。

※「メモ欄」は記載不要です  
※最初は、1ファイル分の欄しか表示されていませんが、1ファイル選択すると、2つ目のファイル選択欄が表示されます

⑦“アップロード開始”をクリックし、ファイルの送付を開始する。

Step 1  
データの準備

Step 2  
データ提出



⑧ポップアップで「アップロードが完了しました。」と出れば正常終了です。



**以上で、提出物アップロードは終了です**

# データDVD送付先



ネットワークセキュリティにより、PrimeDriveへアクセスできない場合は、**DVDにデータ書き込み**の上、以下の宛先まで送付してください。

**※アップロード用URL発行メールの返信にて、DVDを送付する旨ご返信ください。**

**2024年1月19日（金） 必着** ※同年1月12日（金）エントリー期限

<宛先>

〒135-0063

東京都江東区有明3丁目5-7 TOC有明16F

ソフトバンクロボティクス株式会社

Humanoid事業部 STREAMチャレンジ事務局 宛

※ 郵送など送付方法は問いませんが、送料については発送者にてご負担ください

※ DVDはソフトバンクロボティクスでデータを確認し、STREAMチャレンジ開催後に廃棄します

以上